

社会情報

Vol. 16 No. 2 Mar. 2007

Social Information

論文

Web メニューデザインの形式的な方法 — 情報アーキテクチャへの形式概念解析の応用 — 長田 博泰

試論

数値標高による地質情報の可視化と地質学への応用について
小出 良幸, 新井田 秀一
テレビとインターネットは相克するのか — デジタル・メディア時代におけるメディア利用の布置状況 — 高橋 徹
情報の定義研究 — 研究段階論を超えて — 田中 一

短報

日本人の IRM 行動 — 退職者移住とロングステイ・ビジネスの勃興 — 石井 和平

研究会報告

第 20 回 社会情報調査の方法に関する研究会
社会調査士資格に関わるプログラムの展開と課題 中井 美樹
社会調査環境の悪化とその対策 — 調査実施法と回収率向上の注意点 — 村瀬 洋一

第 19 回 「社会・意識調査データベース (SORD)」ワークショップ
「構造分析」の調査を振り返って
— <主体を介しての構造分析>をめざして — 似田貝香門

第 16 回 社会と情報に関するシンポジウム
ウェブの進化が変えるもの 滝日 伴則
ギークとウェブの方向性 水野 貴明
Web 2.0 的ユーザーとは何か 藤本 一男

ファカルティ・ディベロップメント

私の SA 体験 島田 祐亮
「データ解析」における SA の役割 — 『私の SA 体験』に対する担当教員からの補足 — 高田 洋



札幌学院大学社会情報学部